

對御覽者不始の弊に與其下參議連日大正十一平米より益々強
重御覽者並其重一重重原強の變費の争中も其御覽者如
一御覽者並

其御覽者 其御覽者

御覽者 御覽者

御覽者 御覽者

御覽者 御覽者

御覽者 御覽者

御覽者 御覽者

御覽者 御覽者

大正十二年十月十三日

財團法人協調會大阪支所

の困難を加へ一ヶ月五拾萬圓の製造能力有るに對して註文見越の
ストツク品を加へて約參拾萬圓の價格品を製出するのみて其間工
場を擔保として京都勸業商券株式會社より五拾萬圓の借入金をな
し或は秘に芝浦製作所に賣込運動を企て切抜に腐心せるもはかば
かしからず加ふるにストツク品は逐次増加の一方で現在約六拾
萬圓餘堆積して資金は固定し之を補ふ金策も成功せず到底此儘現
狀を維持する事困難な狀況に在る。

(二) 爭議の原因

(1) 遠因

大正八年の本商會爭議後當時の友愛會員は殆んど解雇せられ運
動は一時中絶の状態に在つたが其後周圍の事情と聯合會の巧妙
なる宣傳によつて約百名の職工は京都聯合會、電機工組合に加
入して居る其内兎角工場内の秩序を亂し平安を阻害する言動を
行ひ所謂首腦者と見做し得べき布引勝一、北浦健次、松浦二郎